



# 2022

2021.4.1~2021.6.30

2022年3月期 第1四半期

## 決算説明資料



代表取締役会長 兼 CEO  
上田 富三

2021年8月5日

「2022年3月期 第1四半期」の  
決算概要、および事業活動について  
ご説明いたします。

第2四半期

売上高：過去最高

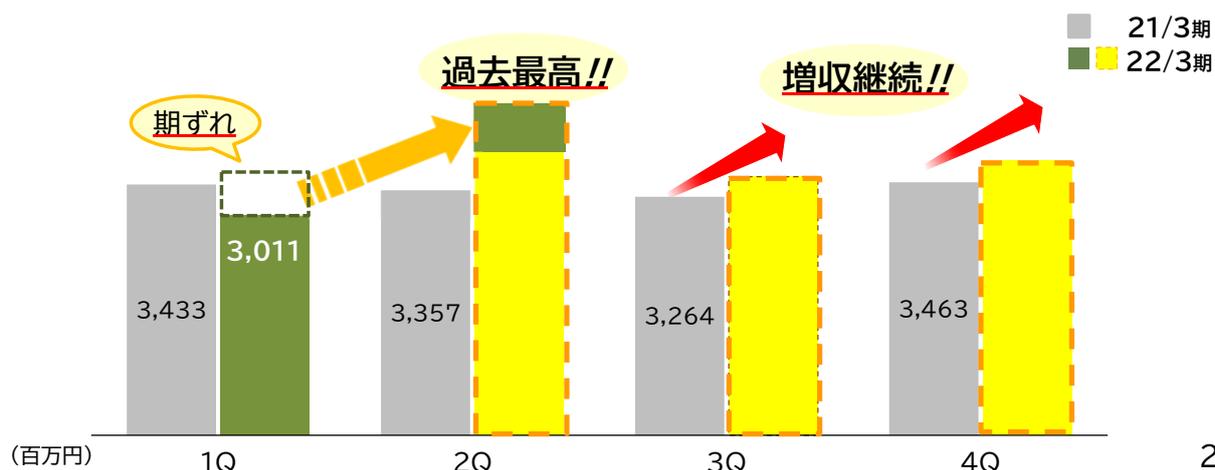
上期・通期 計画達成

- ・ 第2四半期は、「過去最高売上」を更新（「期ずれ」・「新規」上積み!!）
- ・ 下期以降も、「増収・増益」継続!!

上期 予想

売上高 69億00百万円（前期比 +1.6%）

営業利益 6億95百万円（前期比 +0.9%）



まずはじめに、今期の業績見通しをご説明します。

第2四半期(7月～9月)は、第1四半期に発生した、一部プロジェクトの「期ずれ」と、新規案件のスタートを受け、過去最高売上・利益を更新する見込みです。

下期以降も、好調な受注を背景に、増収・増益を継続し通期業績予想(売上・利益)を達成する見通しです。

-----2022年3月期 業績予想-----

上期 売上高 6,900百万円(前期比+1.6%)  
営業利益 695百万円(前期比+0.9%)

通期 売上高 14,200百万円(前期比+5.0%)  
営業利益 1,350百万円(前期比+5.0%)

## 2022年3月期 第1四半期 決算概要

2022年3月期 業績見通し・配当

アドソル日進の取り組み

3

それでは、「2022年3月期 第1四半期」の  
決算概要をご説明します。

(単位:百万円)	2021/3 1Q		2022/3 1Q		前期比	
	実績	率%	実績	率%	増減額	増減率%
売上高	3,433	-	3,011	-	△421	△12.3
社会インフラ事業	2,156	62.8	1,864	61.9	△291	△13.5
先進インダストリー事業	1,276	37.2	1,146	38.1	△129	△10.2
売上総利益	869	25.3	769	25.6	△99	△11.5
販売管理費	521	15.2	536	17.8	15	3.0
営業利益	348	10.2	233	7.7	△115	△33.1
経常利益	357	10.4	243	8.1	△114	△32.0
親会社株主に帰属する 四半期純利益	262	7.6	167	5.6	△94	△36.1

「2022年3月期 第1四半期」の業績総括です。

顧客による新型コロナウイルス感染症の影響を見極める動きが強く、大規模なICTシステム開発の一部でプロジェクト開始の延期が見られたことから、  
売上高 : 「3,011百万円」、  
営業利益 : 「233百万円」となりました。

特に、利益面では、この第1四半期に、  
・新入社員研修(新卒:50名)の更なる充実化や、  
・関西支社におけるデジタル・イノベーション・ラボの設置などの投資を行いました。

# セグメント別売上高

- ◆ 社会インフラ事業 : エネルギー(電力・ガス) 2Q以降新規プロジェクト開始
- ◆ 先進インダストリー事業 : 次世代自動車(先進EV、自動運転)、ペイメント 堅調

	2021/3 1Q		2022/3 1Q		前期比	
	実績	構成比%	実績	構成比%	増減額	増減率%
(単位:百万円)						
売上高	3,433	-	3,011	-	△421	△12.3
社会インフラ事業	2,156	62.8	1,864	61.9	△291	△13.5
エネルギー	1,886	55.0	1,549	51.5	△336	△17.9
交通・運輸	130	3.8	102	3.4	△28	△21.5
公共	24	0.7	36	1.2	11	47.6
通信・ネットワーク	114	3.4	176	5.9	61	53.4
先進インダストリー事業	1,276	37.2	1,146	38.1	△129	△10.2
制御システム	539	15.7	378	12.6	△161	△29.9
基盤システム	639	18.6	631	21.0	△7	△1.3
ソリューション	98	2.9	137	4.6	39	39.9

5

続いて、セグメント別の概要です。

「社会インフラ事業」では、  
通信・ネットワーク分野での基地局関連が拡大しましたが、  
エネルギー分野において、  
顧客における、ICT投資時期を見極める動きから、  
予定した複数の新規案件で、  
第2四半期以降の開始となり、減少しました。

「先進インダストリー事業」では、  
基盤システム分野の、次世代決済・カードのペイメント関連が、  
拡大しましたが、  
制御システム分野において、  
コロナ禍の影響により、メディカル関連等で減少しました。  
尚、次世代自動車(先進EV・自動運転)関連は、  
計画通り推移しました。

それでは、次項以降で、  
詳細のご説明をいたします。

・エネルギー:「DX/効率化」、「料金関連」、「設備管理」、「顧客管理」など  
第2四半期以降のプロジェクト受注好調(7月～)

(単位:百万円)

	売上高		受注残高		概況
	21/3 1Q	22/3 1Q	21/3 1Q	22/3 1Q	
社会インフラ事業	2,156	1,864	2,360	1,286	
エネルギー	1,886	1,549	2,221	1,153	電力、ガス: ・事業再編、自由化後のシステム更新需要 継続 ・次案件準備(料金関連、設備管理、顧客管理など) ・DX/効率化テーマ(データ利活用・分析ほか) ・法的分離・運用対応
交通・運輸	130	102	49	25	宇宙関連:計画通り推移 鉄道関連:チケット関連等
公共	24	36	19	36	防災関連 継続
通信・ネットワーク	114	176	70	70	次世代通信(5G):無線基地局 拡大

6

「社会インフラ事業」では、

・「エネルギー分野」は、  
電力・ガス会社の「事業再編」や「自由化後のシステム更新需要」  
等に、継続的に取り組みました。

・「交通・運輸分野」では、中期的な成長のカギとなる  
「宇宙関連」が計画通り推移しました。

・「通信・ネットワーク分野」では、  
「5G」を中心とした基地局関連が継続しております。

結果、

売上高は

「1,864百万円」となりました。

なお、受注残高は、前年同期に

「ガス会社の法的分離・大型案件」の影響があったことに加え、  
今期の新規プロジェクト開始が第2四半期以降になることから  
第1四半期は「1,286百万円」となりましたが、  
7月以降、受注は好調に推移しております。

- ・制御システム：「次世代自動車」継続
- ・基盤システム：「決済・カード関連」拡大
- ・ソリューション：「セキュア・ラップトップ：兵庫県・芦屋市 採用」 (単位：百万円)

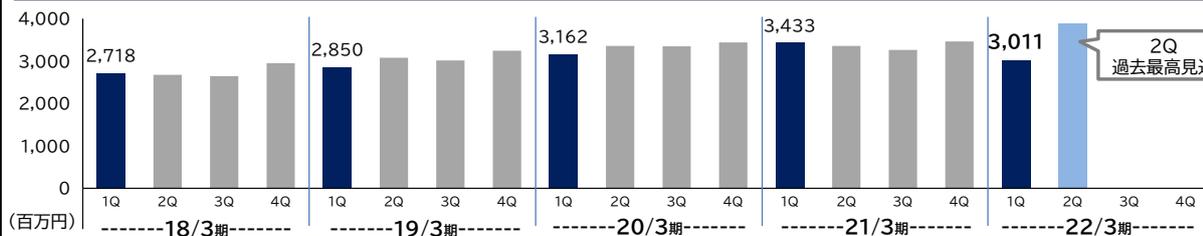
	売上高		受注残高		概況
	21/3 1Q	22/3 1Q	21/3 1Q	22/3 1Q	
先進インダストリー事業	1,276	1,146	756	683	
制御システム	539	378	203	252	・次世代自動車：計画通り ・メディカル：開発スケジュール一部延期
基盤システム	639	631	467	360	・決済・カード関連：対応領域拡大 受注残高・期ずれ ・旅行関連：縮小・延期
ソリューション	98	137	85	70	・LynxSECURE： 兵庫県・芦屋市 採用 セキュア・ラップトップ(自治体テレワーク)

続いて、「先進インダストリー事業」です。

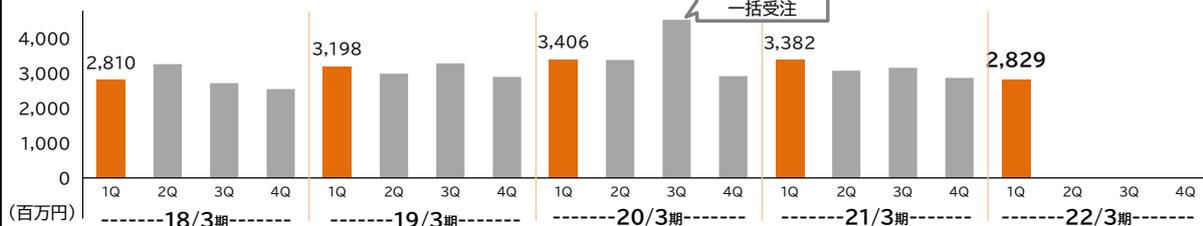
- ・「制御システム分野」では、  
先進EV・自動運転等の「次世代自動車関連」が  
計画通り推移しましたが、  
メディカル関連は、前期に引き続き、新型コロナウイルス感染  
拡大に伴う開発スケジュール延期の影響を受けております。
- ・「基盤システム分野」では、  
「一部サービス関連」で、縮小・延期がありましたが、  
「次世代決済・カード関連」で、対応領域の拡大に  
取り組みました。  
尚、継続案件において、顧客の発注手続きが遅れ、  
期ずれが発生したことから、受注残高は減少しておりますが、  
現在では解消しております。
- ・「ソリューション分野」では、  
テレワーク・ソリューションの「セキュア・ラップトップ」が、  
「兵庫県・芦屋市様」で正式に採用されました。  
今年10月の導入に向け、準備が進んでおります。

以上の結果、  
売上高は「1,146百万円」、  
受注残高は「683百万円」となりました。

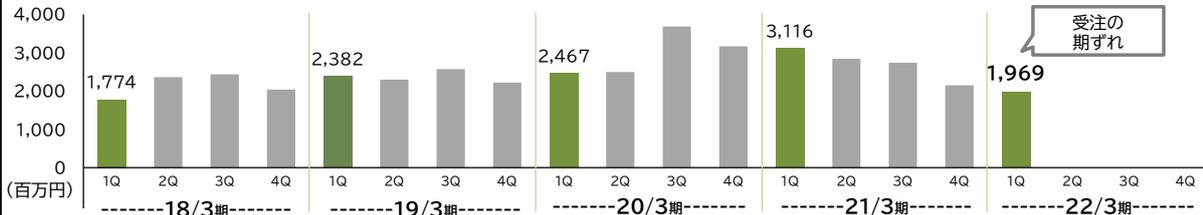
売上高



受注高



受注残高



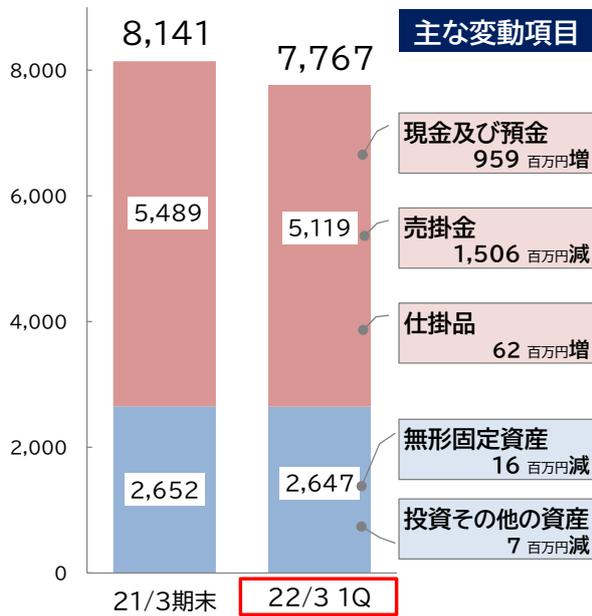
四半期毎の  
「売上高」、  
「受注高」、  
「受注残高」は、  
ご覧の通りです。

受注残高は、前年同期にあった  
「ガス会社の法的分離・大型案件」の影響と  
今期の新規プロジェクトの多くが  
第2四半期以降に開始されることから  
ご覧の結果となっておりますが、  
7月以降、受注は好調に推移しております。

資産

●総資産:77億円

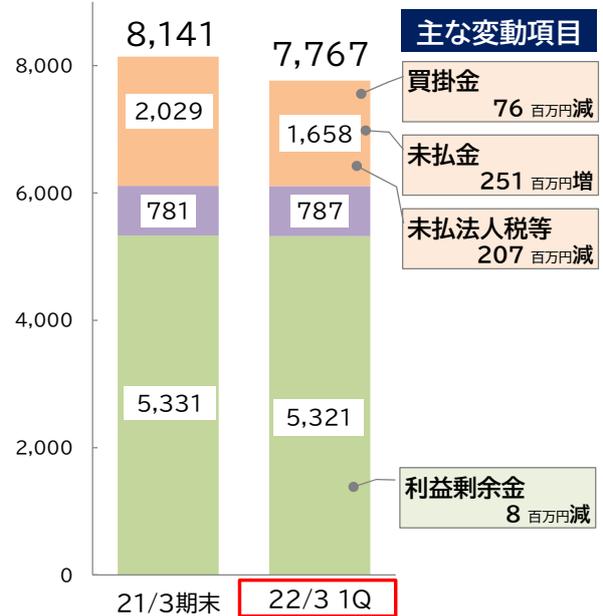
(単位:百万円) 流動資産 固定資産



負債・純資産

●自己資本比率:67.0% (+3.0P)

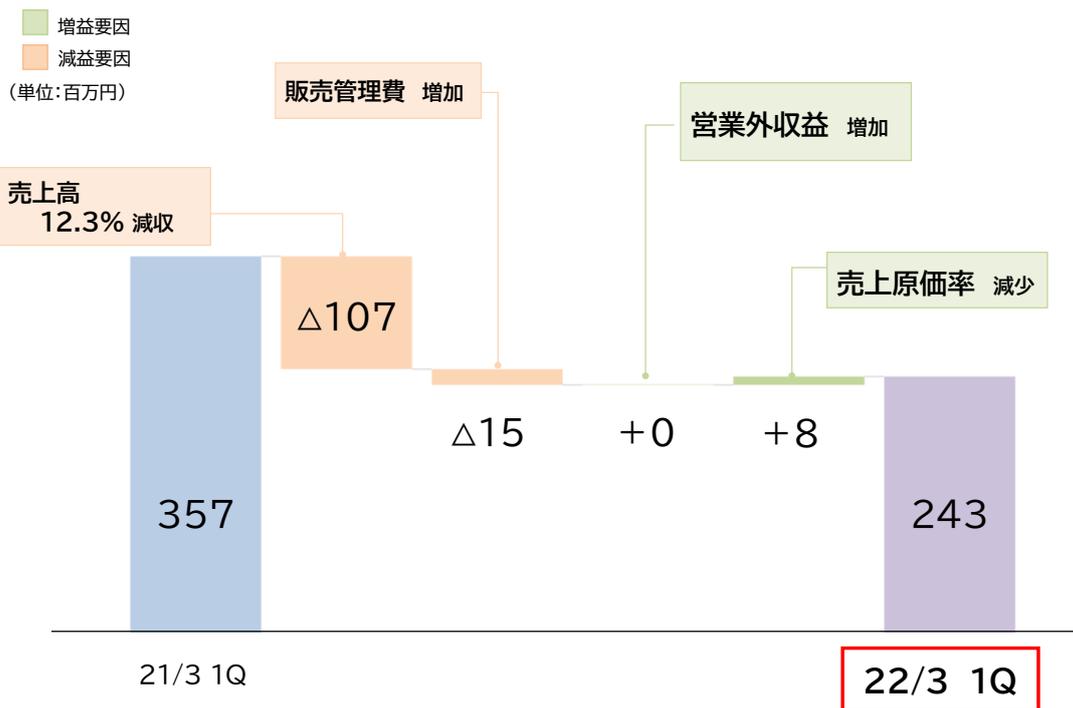
(単位:百万円) 流動負債 固定負債 純資産



貸借対照表は、ご覧の通りです。

自己資本比率は、67%と、健全な状況を保っております。

主な変動要因



続いて、経常利益の分析です。

「売上高の減少」や  
「販売管理費の増加」等により、  
「243百万円」となりました。

販売管理費は

- ・新入社員研修(新卒:50名)の更なる充実化(コロナ禍対応)や、
- ・関西支社におけるデジタル・イノベーション・ラボの設置  
などを行ったことにより、増加しております。

2022年3月期 第1四半期 決算概要

2022年3月期 業績見通し・配当

アドソル日進の取り組み

11

続いて、  
2022年3月期の業績見通し、および  
配当についてご説明いたします。

## ■ 国内企業： ICT投資意欲 堅調（DX・業務効率化等）

ICT投資計画 **16.1%** 増日銀短観6月調査  
ソフトウェア投資計画(全産業+金融機関)

## ■ 当社顧客： 新規案件 続々スタート!!

## 【電力・ガス】

新・託送システム（全国一斉開始：2023/4より）

スマートグリッド実証実験

基幹システム再構築

設備保安・点検

VPP  
(バーチャル・パワー・プラント)

## 【先進インダストリー】

基幹システム DX化対応

物流DX関連

**増収・増益 継続!!**

☆増加するICT需要への対応

- ・【システム開発】： 開発体制強化（技術者・プロジェクト環境：拡充）
- ・【ソリューション】： 新・アライアンスによるDX案件拡充

12

第2四半期に入り、  
電力・ガスの新規案件として、  
新託送システムやVPPなど、様々な案件がスタートしております。

また、先進インダストリー領域では、  
基幹システムや、物流システムのDX化対応案件が立ち上がるなど、  
堅調な受注を背景に、  
増収基調が継続する見込みです。

当社の取り組みとしては、  
増加するICT需要に、確実に応えるため  
優秀な技術者の確保やプロジェクト環境の拡充など、  
開発体制を強化するとともに、  
新たなアライアンス企業との協業による  
ソリューション・ビジネスの拡充を推進しております。

## 売上・営業利益 過去最高!!

(単位:百万円)	2021/3 2Q		2022/3 2Q (予)		前期比	
	実績	構成比%	見通し	構成比%	増減額	増減率%
売上高	6,790	-	6,900	-	109	1.6
社会インフラ事業	4,255	62.7	4,360	63.2	104	2.4
先進インダストリー事業	2,534	37.3	2,540	36.8	5	0.2
売上総利益	1,715	25.3	1,736	25.2	21	1.2
営業利益	688	10.1	695	10.1	6	0.9
経常利益	707	10.4	715	10.4	7	1.0
特別損益(※)	28	0.4	-	-	△28	-
親会社株主に帰属する 四半期純利益	507	7.5	472	6.8	△35	△7.1

※2021年3月期は、関係会社株式の売却等により特別利益を計上しております。

13

2022年3月期、上期の見通しです。

7月に入り、受注が好調に推移していることから、第2四半期(7月～9月/3か月間)は、「過去最高の売上・営業利益」を見込んでおり、売上高、営業利益ともに、前期を上回り、「過去最高額」を更新する見込みです。

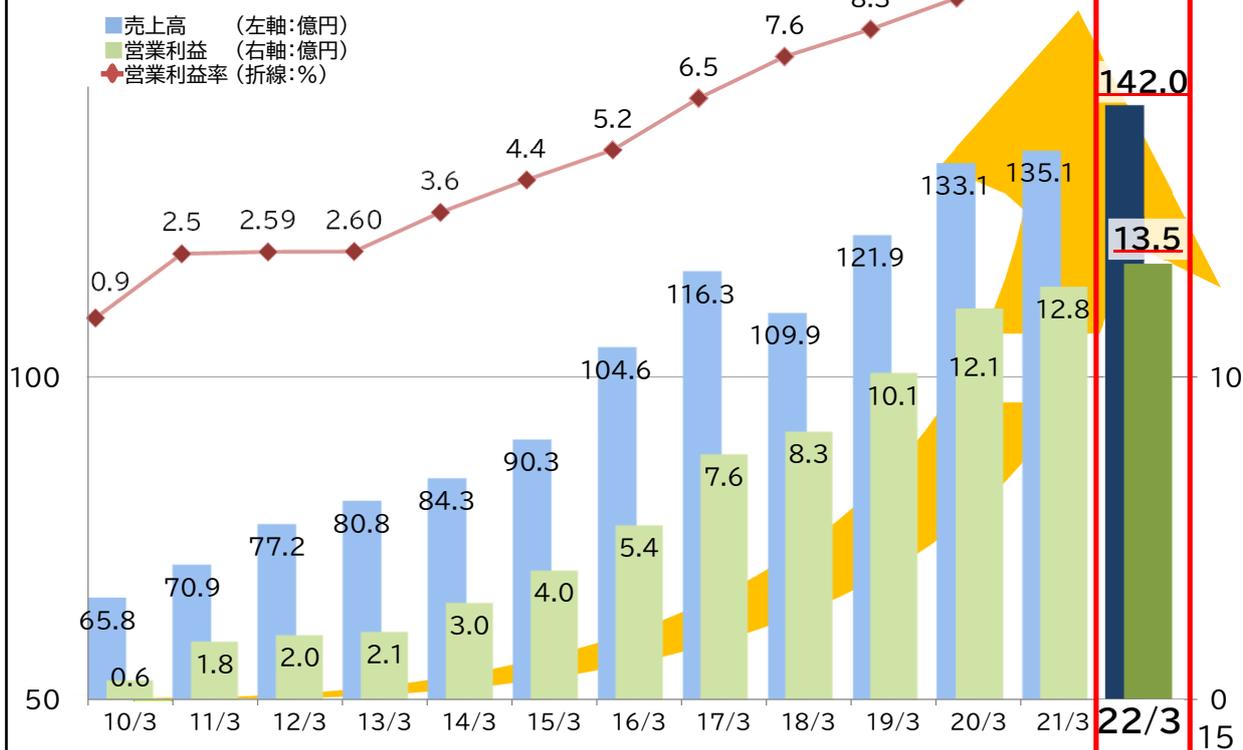
※2021年3月期は、関係会社株式の売却等により特別利益を計上しております。

**12期連続 営業増益!!****最高売上・利益  
更新!!**

	2021/3		2022/3(予)		前期比	
	実績	構成比%	見通し	構成比%	増減額	増減率%
(単位:百万円)						
売上高	13,518	-	14,200	-	681	5.0
社会インフラ事業	8,585	63.5	9,000	63.4	415	4.8
先進インダストリー事業	4,933	36.5	5,200	36.6	267	5.4
売上総利益	3,329	24.6	3,540	24.9	210	6.3
営業利益	1,285	9.5	1,350	9.5	64	5.0
経常利益	1,314	9.7	1,381	9.7	66	5.1
親会社株主に帰属する 当期純利益	898	6.6	910	6.4	11	1.3

14

2022年3月期、通期業績見通しは、  
 売上高は、「142億円」  
 営業利益は、「13億5千万円」と、  
 最高売上と、12期連続となる、  
 最高利益の更新に取り組んでまいります。

◆ 12期連続 増益 / 利益率アップ

業績の推移です。

「2010年」から「11期連続の増益」を達成し、同時に、「収益性」も、ご覧の通り、毎年、着実にアップしております。

電力・ガスのエネルギーを中心とした、「社会インフラ」と、自動車、メディカルなどの、「先進インダストリー」、そして、

セキュリティや、GIS:地理情報システム、近距離無線などの「当社オリジナル・ソリューション」で連続増収と、12期連続の増益・収益性の向上に継続して取り組んでまいります。

配当方針

- 配当性向 **35%**以上
- **連続増配**
- 配当計画 年**2**回(中間、期末)

配当予想

(単位:円)	2021/3	2022/3
中間	16	<b>18</b>
期末	19	<b>18</b>
年間	<b>35</b>	<b>36</b>

配当推移



続きまして、配当です。

配当性向は「35%以上」、  
株主配当は「中間・期末の年2回」と  
しております。

今期は、  
「上期18円」、「下期18円」の  
「年間36円」で、  
「12期連続増配」を見込んでおります。

なお、  
今期の配当性向は、  
「36.6%」の見込みです。

プライム市場

適合!!

## ◆ 適合結果

項目	上場維持基準	適合結果
流通株式数	2万単位 以上	○
流通株式時価総額	100億円 以上	○
売買代金	1日平均売買代金 0.2億円 以上	○
流通株式比率	35% 以上	○

## ◆ 今後の予定

項目	2021年 8月	9月	10月	11月	12月	2022年 1月	2月	3月	4月
申請手続		←————→							
選択結果の公表						☆1/11 東証ウェブサイトにて			
新・市場移行									☆4/4~

17

東京証券取引所より、  
「プライム市場」の上場維持基準を満たしていることの  
通知を受けております。

9月以降、新市場に向け、  
所定の手続きを、進めてまいります。

2022年3月期 第1四半期 決算概要

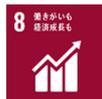
2022年3月期 業績見通し・配当

アドソル日進の取り組み

18

次に、第1四半期を中心に、  
当社の取り組みをご紹介します。

兵庫県芦屋市: **正式採用 決定!**



「1台のパソコン」で、庁内・自宅から「セキュア」に接続



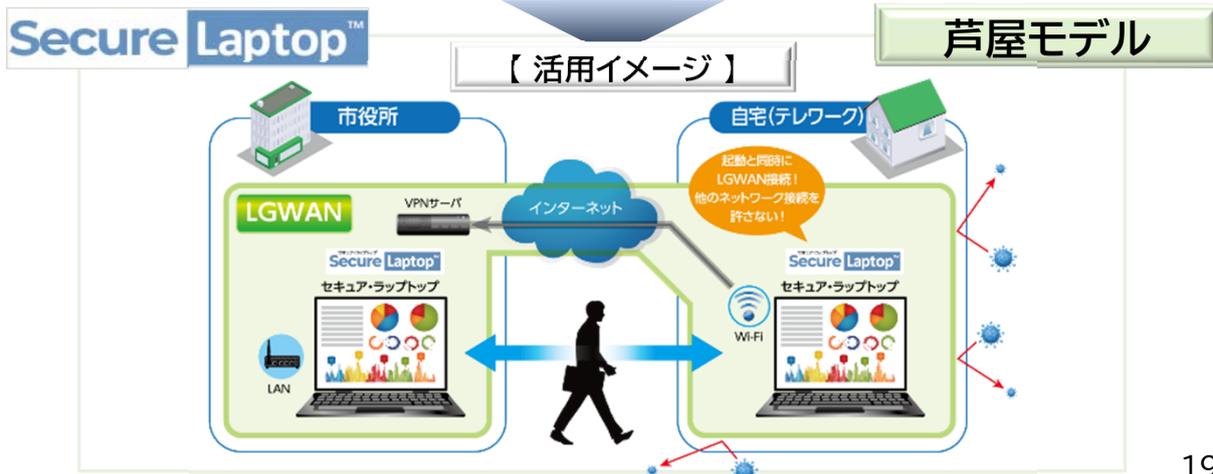
☆ **高セキュリティ** ☆

・独自「高セキュリティ技術(航空・防衛領域)」  
・「サイバー攻撃」・「ウイルス侵入」完全防御



☆ **コスト低減** ☆

・「1台のパソコン」で業務可能(庁内・自宅)  
・テレワーク用パソコン不要



19

まず、昨年7月に販売を開始し、  
実証実験に取り組んできた  
「テレワーク・ソリューション:セキュア・ラップトップ」が  
兵庫県・芦屋市役所にて、採用されました。

セキュア・ラップトップは、  
当社の「高セキュリティ技術」を活用することで、  
テレワークで懸念される  
外部からの「サイバー攻撃」や「ウイルスの侵入」を  
完全に防御します。

また、庁内・自宅ともに「1台のパソコン」で  
業務が可能となり、「コスト低減」にも貢献するソリューションです。

全国の自治体様への提案活動も継続して取り組み、  
自治体職員様の働き方改革に貢献してまいります。

中央省庁、公共・公益企業向け

開発中

「革新的IoTテクノロジー」で、PC内を「完全分離（社内／社外接続）」

- 業務効率化 -

- ・PC使い分け 不要
  - 重要情報の取扱い業務
  - 調査・機密データ アクセス
- ・ネットワークの隔離と遮断



- コスト削減 -

- ・複数PC不要
  - パソコン台数削減
- ・高セキュリティ



次に、  
より高度なセキュリティが求められる  
ネットワーク環境に対応した  
新ソリューション(セキュア・iソリューション)の  
開発に取り組みました。

セキュア・iソリューションについては、  
日本経済新聞においても取り上げられました。

詳細は当社ウェブサイトより、  
ご覧ください。

<https://www.adniss.jp/news/2021/07/newspaper20210630-secure-isolation2.html>

販売が決定しましたら、  
改めて、お知らせいたします。

「最先端ソリューション」の体感！！

関西  
新オープン！！

「IoT」×「地図情報」×「セキュリティ」

- 1 現場プロセスの業務改革・効率化  

- 2 スマートなエネルギー環境  

- 3 自然災害に強い企業・社会  

- 4 業務持続が可能なセキュアスマート自治体  

- 5 セキュアで安心安全な医療現場  




次に、当社がご提供する  
様々な「DXソリューション」を  
お客様にご体感いただくと同時に、

「最先端企業」や「研究機関」、「大学」との  
協業・連携による、オープン・イノベーションの  
実現拠点として  
国内2拠点目となる  
「デジタル・イノベーション・ラボ」を  
関西支社に、オープンしました

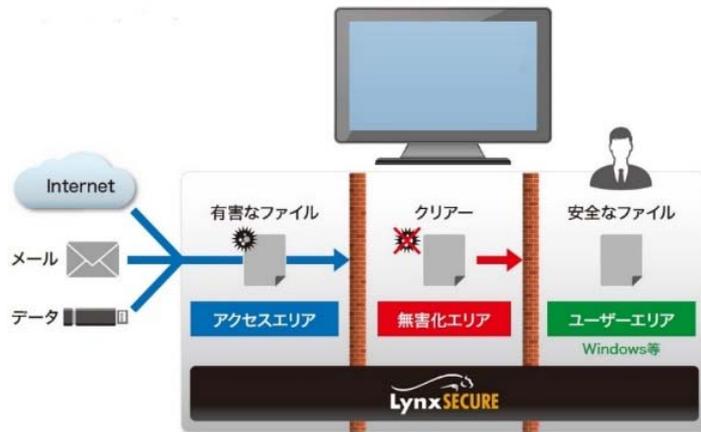
「IoT」、「地図情報」、「セキュリティ」を、キーコンセプトに、  
当社の「最先端ソリューション」で  
お客様の「デジタル・イノベーション」に貢献してまいります。

**IoT・サイバーセキュリティ関連**



**【外部侵入ウイルス：無害化】**

- ・サイバー攻撃対応
- ・重要なデジタル・データを、「データ・ダイオード技術」で「隔離」「遮断」し、「保護」する技術
- ・米国Lynx社の「LynxSECURE」を活用（日本国内・独占販売権）



特許概要	
特許番号	特許第6841703号
発明の名称	コンピュータ装置
出願日	2017年3月29日
登録日	2021年2月22日
特許権者	アドソル日進

次に、  
知的財産への取組みについて、ご説明します。

当社は、保有する独自技術について、  
特許権の取得に長年、取り組んでおり、

今回、注力する  
「IoTサイバー・セキュリティ」関連で、  
「14件目」となる特許を取得しました。

今後も、技術力の強化と  
ソリューション・メニューの拡充を図るため、  
関連技術の特許取得を進めてまいります。

安心・安全の、「AI研究」・「AIシステム」



【テスト効率化】



- ・AIシステム
  - …評価やテストを効率化
  - …多くのAIシステム対応
- ・汎用プラットフォーム
  - …AIシステムの品質管理

【品質ガイドライン】



- ・品質マネジメント
  - …設計開発／ライフサイクル
- ・要求品質／検査項目共通化
- ・AI全関係者対応
  - …ユーザー、開発者、サービス事
- ・AIビジネス化の加速

【AIシステム開発】



参加企業・団体(50音順)

アドソル日進(株)	(株)サイバー創研
国立研究開発法人 産業技術総合研究所	大学共同利用機関法人情報・システム研究機構国立情報学研究所
テクマトリックス(株)	(株)デンソー
学校法人 東京理科大学	トヨタ自動車(株)
日本アイ・ピー・エム(株)	日本電気(株)
パナソニック(株)	(株)日立製作所
富士通(株)	(株)富士通研究所

産総研について

・名称 : 国立研究開発法人 産業技術総合研究所  
 ・創立 : 2001年4月  
 ・所在地 : 本部:東京都千代田区/つくば市 研究拠点:全国10か所  
 ・理事長 : 石村 和彦  
 ・職員数 : 3,041名 (研究職員2,338名)  
 ・事業概要 : 産業技術に関わる研究  
 ・URL : <https://www.aist.go.jp/>

続いて、当社が取り組む

最先端の研究活動について、ご紹介します。

当社は、「人工知能のAI」や、「仮想現実のVR」、  
 「IoT」、「セキュリティ」、「GIS:地理情報」など  
 様々なテーマで「研究開発活動」に  
 取り組んでおります。

「AI」に関しては、  
 多くの会社に取り組む「AIシステム開発」に加え、  
 「国立研究開発法人」の  
 「産業技術総合研究所」が取り組まれている  
 「AIの研究活動」にも参画しております。

「AI 開発」に加え、「AI品質」や「AI効率化」の面から  
 「AI」の「研究活動」を推進することで、  
 より一層、「安心・安全」な「AIシステム」を  
 提供してまいります。

新開設：「IoTセキュリティ研究コンソーシアム」

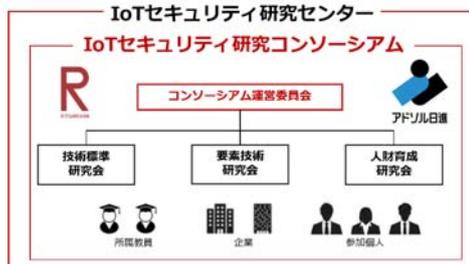


【IoT・セキュリティの研究・交流拠点：産学官連携】

- ・IoTセキュリティ人材の育成
- ・セキュリティ技術の研究
- ・セキュリティ基準・ガイドラインの策定



立命館大学 草津キャンパス



産学共同研究：IoT機器向け「マルチコア制御システム」

【ソフトウェア間 データ連携(組み込みソフトウェア)】

- ・実証システム構築
  - －産業界のユースケース想定
- ・1つのマルチコア・マイコンで制御
  - －走行制御ソフトウェア / 監視通信ソフトウェア
  - －コネクテッドカーを想定
- ・走行制御/走行データの蓄積・可視化



< 図1 実証システムの概要 >

産学連携への取り組みとして、  
当社は2019年に立命館大学と、  
IoTセキュリティ関連での産学連携協定を締結し、  
安心・安全なスマート社会の実現に向けた  
取り組みを推進しております。

この度、IoTセキュリティ研究をより一層推進するため、  
立命館大学と共同で、  
IoT・セキュリティの産学官連携の研究・交流拠点として  
「IoTセキュリティ研究コンソーシアム」を設置しました。

今後、本コンソーシアムを中心に、  
「IoTセキュリティ人材の育成」や、「技術研究」、  
「セキュリティ基準・ガイドライン」の  
策定等の活動を推進してまいります。

また、IoT機器向けのマルチコア制御システムの研究にも  
継続して取り組んでおります。

2021年4月 新卒社員

◆ 人数 : 50名

- ・大学院 14名
- ・大学 36名

※グローバル人財・・・1名  
(ベトナム人留学生)



※2021年4月1日、入社式の模様

2022年4月 新卒採用

◆ 採用計画 : 55名以上



25

人財への取組みをご紹介します。

本年、2021年4月には、  
新入社員、50名が入社しました。

2022年の新卒採用活動としては、  
現在、55名以上を目標に  
採用活動を進めております。

あわせて、経験者採用にも積極的に取り組んでおります。

## 対象株主 & 時期

- 毎年9月30日、3月31日の株主様(年2回)
  - 200株以上4,000株未満 :12月、6月に優待品を発送予定
  - 4,000株以上 :11月、5月にカタログを発送予定

## 優待内容

**■ 200株以上4,000株未満**  
 「緑の募金」付きQUOカードを贈呈

- 200株以上 1,000株未満 500円相当
- 1,000株以上 2,000株未満 1,000円相当
- 2,000株以上 4,000株未満 1,500円相当

**● 保有期間特典**  
 1年以上で QUOカード1枚(500円相当)を  
 年間 2枚 追加贈呈



**■ 4,000株以上**

- 「緑の募金」付きQUOカード(3,000円相当) 又は
- 「紀州梅」「みかんジュース」「みかんゼリー」「醤油」「お米」等から選べる株主優待カタログ (3,000円相当の商品から一品)を贈呈



注. 写真はイメージで実際の商品と異なる場合があります。

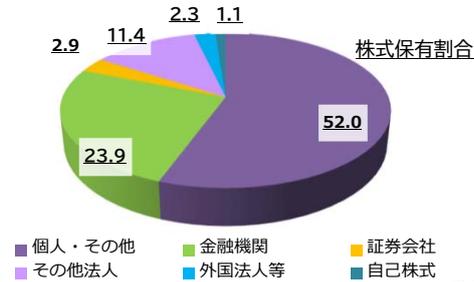
株主優待のご紹介です。

配当に加え、保有株数に応じた優待制度を設けており、「梅ギフト」や「クオカード」を

年2回、贈呈させていただいております。

# 会社概要

社名	アドソル日進株式会社 Ad-Sol Nissin Corporation
本社	〒108-0075 東京都港区港南4丁目1番8号 リバーージュ品川 TEL:03-5796-3131(代表) FAX:03-5796-3265(代表)
拠点	大阪、福岡、仙台、米国サンノゼ
設立	1976年3月13日
代表者	代表取締役会長 兼 CEO 上田 富三 代表取締役社長 兼 COO 篠崎 俊明
資本金	5.5億円
決算	3月
事業内容	独立系のICT企業として、社会システム事業を 中核に企業や公共向け情報システムの開発、 及びソリューションの提供並びに商品化と販売
従業員数	1,164人(グループ総数)
売上高	135.1億円(2021年3月期)
上場市場	東証1部 3837
発行済株式数	9,354,919株(2021年3月31日現在)
子会社	国内 アドソル・アジア(株) 米国 Adsol-Nissin San Jose R&D Center, Inc. (サンノゼR&Dセンター)
業務提携先	米国 Lynx Software Technologies, Inc. 中国 大連運籌科技有限公司(Weavesoft Ltd.) ベトナム 3S Intersoft JSC United Technologies Corporation Individual Systems



アドソル日進の会社概要です。

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。又、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

又、業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。

尚、本資料に記載されている会社名及び商品名は、各社の商標又は登録商標です。

### ■お問合せ先

 **アドソル日進株式会社**

URL <https://www.adniss.jp/>

【本 社】 〒108-0075 東京都港区港南4-1-8 リバージュ品川

TEL:03-5796-3131(代表)

経営企画室 広報・IR担当 TEL:03-5796-3023 メール:ir@adniss.jp

以上で、  
「2022年3月期 第1四半期」決算の  
ご説明を終わらせていただきます。

ありがとうございました。